

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1040055	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	在宅当番医制運営事業					
担当部名	保健衛生部			担当課名	保健医療課	
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	岐阜市医師会	
開始・終了年度	平成	16	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市時間外診療業務実施要綱

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	休日及び夜間における一次救急医療体制の確保を目的とする。					
内容 (手段・手法など)	岐阜市医師会に委託し、市内医療機関において、内科及び外科系の休日及び夜間における一次救急医療体制を整備している。					
事業の 対象	何を	内科及び外科系の一次救急医療				
	誰に	受診者				
	どのくらい	内科・外科:平日(年間293日)及び休日(年間72日)18:00～翌8:00 眼科:休日(年間72日)10:00～18:00、耳鼻咽喉科:休日(年間65日)10:00～18:00、産婦人科:休日(年間72日)10:00～18:00				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,925	90	2,907	90	2,862	90
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,925	90	2,907	90	2,862	90

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		23,857	23,857	23,857
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	23,188	23,188	23,188
	医師保険料	669	669	669
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		23,857	23,857	23,857

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	26,782	26,764	26,719

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	26,782	26,764	26,719

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	400,000	400,000	400,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	67	67	67

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	事業実施日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	365	365	365	365
実績値	365	365	365	365

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	患者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	—
実績値	639	747	747	925
達成状況	—	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	内科、外科系の一次救急患者の受入先を確保することができ、市民 ニーズは高いといえる。 岐阜県保健医療計画に基づき、市が実施する必要がある。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	年間約67円の負担で、休日及び夜間における内科・外科系の一次医 療体制を確保できており、費用対効果は高いといえる。 「救急安心センターぎふ」にて広域的に当番病院(診療所)を案内して いる。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	年間を通じて各診療科において受診できる救急医療体制を整備する ことは、市民へ安心を寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受診した病院(診療所)に対して医療費はかかるが、制度の利用は無 料であり、また、受益者はすべての市民であるため、公平性は高いとい える。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	一次医療(比較的軽症)の提供体制は市町村単位で確立するものと岐 阜県保健医療計画に定められている。 休日及び夜間の一次救急医療体制の確保は市民の安全安心の拠り 所となるため事業継続の必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1040055 _ 002

【1.基本情報】

事業名	病院群輪番制運営事業					
担当部名	保健衛生部		担当課名	保健医療課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	市内8病院	
開始・終了年度	平成	16	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	年間を通じて、休日及び夜間の二次救急医療体制を確保する事を目的とする。					
内容 (手段・手法など)	休日及び夜間において、休日急病センター及び小児夜間急病センターの後方支援のほか、一次医療機関で治療が難しい重篤な患者を転送して診療を受けられるよう、市内8病院(岐阜市民病院、岐阜県総合医療センター、国立病院機構長良医療センター、岐阜大学医学部附属病院、岐阜赤十字病院、朝日大学病院、岐阜清流病院、河村病院)へ委託し、内科・外科系及び小児科の二次救急医療体制を整備している。					
事業の 対象	何を	二次救急医療				
	誰に	受診者				
	どのくらい	365日 平日(293日):午後6時～翌午前8時、休日(72日):午前8時～翌午前8時				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,925	90	2,907	90	2,862	90
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,925	90	2,907	90	2,862	90

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		19,928	19,928	19,928
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	19,928	19,928	19,928
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		19,928	19,928	19,928

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	22,853	22,835	22,790

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	4,549	4,618	4,618
計(F)	4,549	4,618	4,618

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	18,304	18,217	18,172

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	400,000	400,000	400,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	46	46	45

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	事業実施日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	365	365	365	
実績値	365	365	365	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	年間を通じて、休日及び夜間の二次救急医療体制を確保		単位	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	
実績値	—	—	—	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	休日及び夜間の二次救急患者の受入先確保のために必要とされており、市民ニーズは高いといえる。 岐阜県保健医療計画に基づき、市が実施する必要がある。また、地方交付税対象事業である。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	年間45円の負担で、内科・外科系及び小児科の二次救急医療体制を確保できていることを鑑みると費用対効果は高いと考えられる。 救急搬送や小児夜間急病センター及び休日急病センターの二次転送に役立っている。 近隣市町を含めた広域で活用している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	一次医療機関で治療が困難な重篤患者の受入先として、内科・外科系7病院と小児科4病院での二次救急医療体制を整備していることは、迅速な救急搬送に寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受診した病院に対して医療費はかかるが、制度の利用は無料であり、また、受益者はすべての市民であるため、公平性は高いといえる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	二次医療圏である岐阜圏域には病院が多数あるが、中心的役割を岐阜市が担うことで、二次救急医療体制を整備していく必要がある。また、近隣市町と協定を締結しており、事業継続が求められる。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140055 _ 003

【1.基本情報】

事業名	休日急病センター事業					
担当部名	保健衛生部		担当課名	保健医療課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	岐阜市民病院	
開始・終了年度	平成	24	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市休日急病センター及び岐阜市休日急病歯科センター業務実施要綱

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民が休日にも安心して医療を受けられるように、岐阜地域の休日の一次救急医療体制を確立することを目的とする。					
内容 (手段・手法など)	岐阜市医師会、岐阜市歯科医師会、岐阜市薬剤師会等の協力のもと、市民病院に事業を委託し運営している。					
事業の 対象	何を	休日における医療				
	誰に	小児科・内科・歯科患者				
	どのくらい	小児科・内科: 日曜・祝日・12/31～1/3の9時～13時、14時～18時、19時～23時 歯科: 日曜・祝日・12/31～1/3の9時～13時、14時～18時				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,925	90	2,907	90	2,862	90
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,925	90	2,907	90	2,862	90

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		59,280	65,889	70,242
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	市民病院委託料	58,822	65,624	69,705
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		59,280	65,889	70,242

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	62,205	68,796	73,104

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	19,489	32,626	68,136
その他	84	451	1,048
計(F)	19,573	33,077	69,184

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	42,632	35,719	3,920

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	400,000	400,000	400,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	107	89	10

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	事業実施日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	70	70	70	70
実績値	70	70	70	70

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜地域の休日の一次救急医療体制を確立		単位	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—
達成状況	—	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	岐阜地域の休日に開業する医療機関が少ない中、一次救急医療体制が確保されることで市民が安心して受診することができ、市民ニーズが高いといえる。 岐阜県保健医療計画に基づき、市が実施する必要がある。また、地方交付税対象事業である。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	年間約10円の負担で休日の急病患者への診療の場を提供できていることを鑑みると、費用対効果は高いと考える。 近隣市町と協定を締結しており、広域的に事業を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	市内の診療所の休診日である日曜日及び祝・休日に一次救急医療体制を整備していることは、市民の安心に寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受診患者は、診療報酬に基づく費用を負担しており、適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	一次医療(比較的軽症)の提供体制は市町村単位で確立するものと岐阜県保健医療計画に定めている。また、上記医療体制の利用について、近隣市町と協定を締結しており、休日の一次救急医療体制の確保は、市民の安全・安心の拠り所となるため事業継続は必要である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1040055 _ 004

【1.基本情報】

事業名	小児深夜帯一次救急事業					
担当部名	保健衛生部		担当課名	保健医療課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	岐阜市民病院	
開始・終了年度	平成	28	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	深夜帯(23時～翌8時)において、小児一次救急医療体制を確保することを目的とする。					
内容 (手段・手法など)	市民病院への委託により、深夜帯(23時～翌8時)における小児科の一次救急医療を実施している。					
事業の 対象	何を	小児科の一次救急医療				
	誰に	15歳以下の小児患者				
	どのくらい	23時から翌8時まで				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,925	90	2,907	90	2,862	90
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,925	90	2,907	90	2,862	90

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		8,322	8,322	8,322
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	市民病院委託料	8,322	8,322	8,322
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		8,322	8,322	8,322

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	11,247	11,229	11,184

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	2,626	2,794	2,850
計(F)	2,626	2,794	2,850

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	8,621	8,435	8,334

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	400,000	400,000	400,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	22	21	21

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	事業実施日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	365	365	365	365
実績値	365	365	365	365

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	患者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	—
実績値	499	785	785	1,055
達成状況	—	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	深夜帯に開業する小児科医が少ない中、小児一次救急医療体制が確保されており、市民が安心して受診することができ、市民ニーズが高いといえる。 岐阜県保健医療計画に基づき、市が実施する。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	年間約21円の負担で深夜帯小児一次救急医療体制ができていたことを鑑みると、費用対効果は高いと考える。 岐阜圏域5市3町と「小児一次救急利用に係る費用負担の協定書」を締結しており、広域的に事業を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか ※【2】【7】から	高	市内の医療機関が休診している深夜帯(23時～翌8時)の小児一次救急医療体制を整備されていることは、市民の安心に寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受診患者は、診療報酬に基づく費用を負担しており、適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	一次医療(比較的軽症)の提供体制は市町村単位で確立するものと岐阜県保健医療計画に定められている。また、夜間帯の小児一次救急医療体制の利用について、近隣市町と協定を締結している。深夜帯の小児一次救急医療体制の確保は、市民の安全安心の拠り所となるため事業継続の必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1040055 005

【1.基本情報】

事業名	小児救急一次医療センター事業					
担当部名	保健衛生部		担当課名		保健医療課	
実施方法	委託(その他)		補助等の種類		実施主体	岐阜市民病院
開始・終了年度	平成	14	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	平日準夜帯(19時30分～23時)において、小児急病患者への診療体制を確保することを目的とする。					
内容 (手段・手法など)	小児夜間急病センターにおいて、市民病院への委託により、平日夜間(19時30分～23時)における小児科の一次救急医療を実施している。					
事業の 対象	何を	小児科の一次救急医療				
	誰に	15歳以下の小児患者				
	どのくらい	平日の19時30分から23時まで				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,925	90	2,907	90	2,862	90
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,925	90	2,907	90	2,862	90

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	市民病院委託費	40,153	41,890	43,015
	消耗品費	26	44	20
	印刷製本費	3	3	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
計(D)=B+C		40,182	41,937	43,055

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	43,107	44,844	45,917

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	5,922	10,078	16,135
その他	7,879	8,735	11,904
計(F)	13,801	18,813	28,039

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	29,306	26,031	17,878

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	400,000	400,000	400,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	73	65	45

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	事業実施日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	295	295	295	295
実績値	295	295	295	295

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	患者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	-
実績値	341	608	608	764
達成状況	—	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	平日夜間帯に開業する小児科医が少ない中、小児一次救急医療体制を確保されており、市民が安心して受診することができ、市民ニーズが高いといえる。 岐阜県保健医療計画に基づき、市が実施する必要がある。また、地方交付税対象事業である。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	年間約45円の負担で平日夜間における小児急病患者の診療の場を提供できていることを鑑みると、費用対効果は高いと考える。 岐阜圏域5市3町と「小児一次救急利用に係る費用負担の協定書」を締結しており、広域的に事業を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	診療所の休診後の準夜帯(19時30分～23時)に小児一次救急医療体制を整備されていることは、市民の安心に寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受診患者は、診療報酬に基づく費用を負担しており、適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	一次医療(比較的軽症)の提供体制は市町村単位で確立するものと岐阜県保健医療計画に定めている。また、夜間帯の小児一次救急医療体制の利用について、近隣市町と協定を締結している。平日準夜帯の小児一次救急医療体制の確保は、市民の安全・安心の拠り所となるため事業継続は必要である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1040055 _ 006

【1.基本情報】

事業名	非医療従事者の初期救急活動環境整備事業(AED貸出事業)					
担当部名	保健衛生部		担当課名	保健医療課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	21	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市自動体外式除細動器(AED)貸出要綱

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	AEDをイベント等の際に貸し出し、非医療従事者である市民が心停止状態にある患者の救命行為を積極的に行える環境を整備することにより、心停止状態の患者の救急救命に資することを目的とする。					
内容 (手段・手法など)	保健所に1台、南・北保健センターに各1台の貸出用AEDを配備し、イベント等での活用を希望する市民に対し貸出しを行う。					
事業の 対象	何を	AED				
	誰に	市民				
	どのくらい	3台				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	保健所の貸出用AEDを2台から1台に変更。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,275	70	2,261	70	2,226	70
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,275	70	2,261	70	2,226	70

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		63	790	402
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	パッド購入	63	0	0
	バッテリー購入	0	0	0
	本体購入	0	790	402
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		63	790	402

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,338	3,051	2,628

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,338	3,051	2,628

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	400,000	400,000	400,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6	8	7

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	貸出件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度		令和4年度
目標値	—	—		—
実績値	10	66		63

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	実際に使用した回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度		令和4年度
目標値	0	0		0
実績値	0	0		0
達成状況	—	—		—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	AEDが整備されることで、市民が安心してイベントに参加することができ、市民ニーズは高いといえる。 民間でもAEDの購入は可能であり、イベントの種類によっては、AEDはすでに用意されている場合も多い。しかし、地域の集まりなど、AEDを用意することが困難である場合においては、市としてフォローする必要がある。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	年間約7円の負担で、イベントなどでの安心が生まれる。心停止となつてから電気ショックが1分遅れるごとに救命率は10%ずつ低下すると言われている(参考:日本AED財団ホームページ)。したがって、命の危険が生じたときに、その命を守る可能性があることを鑑みると、費用対効果は高いと考えられる。 イベントは人が多く集まる場所で実施される可能性が高いので、すでにイベントの実施場所の近くにAEDが設置されている可能性もある。その場合は、AEDマップを周知することで、人々に安心を提供できる可能性がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	イベントは人が多く集まる場所で実施される可能性が高いので、すでにイベントの実施場所の近くにAEDが設置されている可能性もある。その場合は、AEDマップを周知することで、人々に安心を提供できる可能性がある。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	希望があれば誰でもAEDを借りることができ、その受益者はすべての人であるため、公平性は高いといえる。
【総合評価】 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	一定の貸出希望者がおり、万が一の救命活動に必要なことから事業継続の必要がある。 広報ぎふやホームページへの掲載、ラジオ広報を行い、周知を図っている。 AED貸出事業について広く市民に周知するため、今後も引き続き広報活動を行う。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1040055 _ 007

【1.基本情報】

事業名	岐阜市献血推進協議会補助金					
担当部名	保健衛生部		担当課名	保健医療課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市献血推進協議会	
開始・終了年度	平成	8	年度～	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市保健医療関係団体運営補助金交付要綱 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市献血推進協議会の運営費を補助することにより、当該協議会の活動を通じ、献血思想の普及啓発を図り、市民多数の献血を奨励する。					
内容 (手段・手法など)	献血思想の普及啓発活動、献血場所となる事業所へ協力依頼等の献血推進事業を実施している岐阜市献血推進協議会に対し運営費を補助する。					
事業の 対象	何を	岐阜市献血推進協議会補助金				
	誰に	補助(負担)率 100%、補助(負担)額 180千円、補助(負担)対象経費 協議会運営費用				
	どのくらい	岐阜市献血推進協議会開催、ラジオによる献血普及啓発の広報、献血場所となる事業所へ協力依頼等を実施				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	特になし					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	33	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	33	1	32	1	32	1

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		180	180	180
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	補助金	180	180	180
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		180	180	180

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	213	212	212

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	213	212	212

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	医療機関、患者	医療機関、患者	医療機関、患者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	移動採血車による献血場所の確保		単位	箇所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	209	209	209	209
実績値	243	221	221	231

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	献血者数(移動採血車のみ)		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	6,975	6,354	6,354	6,345
実績値	6,350	6,074	6,074	5,865
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	少子高齢社会において、将来の献血を支える10代から30代の若い世代への理解を深め、協力を求める活動に力を注いでいる。 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第5条における市の責務として実施。岐阜市献血推進協議会は、理事14名人中10名が民間からの委員構成である。(岐阜市赤十字奉仕団、ぎふ農業協同組合など) 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	総事業費のみで協議会が運営できており、目標献血者数を毎年達成できていたため、効果あり。(コロナ禍が原因と考えられる献血者減少有) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第5条における市の責務として実施。岐阜市献血推進協議会は、理事14名人中10名が民間からの委員構成である。(岐阜市赤十字奉仕団、ぎふ農業協同組合など)
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	移動採血車の手配、「愛の血液助け合い運動」、高校への訪問、二十歳のつどいでの情報提供、等の若年層に対する啓発活動を通して、目標献血者数を毎年達成できていたため、効果あり。(コロナ禍が原因と考えられる献血者減少有)
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	岐阜市医師会の協力により、R2年度24ヶ所、R3年度15ヶ所、R4年度21ヶ所の病院・診療所等で献血を実施している。(コロナの影響で減少) 民間からの岐阜市献血推進協議会委員にも啓発活動に参加協力してもらっている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	献血の普及啓発等により、血液製剤の安定供給に貢献することで、安心できる医療環境づくりに一定の成果がある。